



前提条件

この章では、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラの展開に関するリリース固有の前提条件について説明します。

- [前提条件 \(1 ページ\)](#)

前提条件

このセクションでは、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラを起動する前に完了する必要がある前提条件について詳しく説明します。

Nexus ダッシュボード

ここで説明する追加の要件と Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ サービスのインストールに進む前に、[\[Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド \(Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide\)\]](#) の説明に従って、Cisco Nexus ダッシュボード クラスタを展開し、そのファブリック接続を設定する必要があります。



- (注) ファブリック コントローラ サービスは、展開されている Nexus ダッシュボード クラスタの 2 つのマスター ノードの障害から回復できません。その結果、Nexus ダッシュボード クラスタに少なくとも 1 つのスタンバイ ノードを維持し、NDFC 設定の定期的なバックアップを作成することをお勧めします。これは、使用しているリリースの [Cisco NDFC-Fabric コントローラ構成ガイドの操作の > バックアップと復元](#) の章で説明されているとおりです。

Nexus ダッシュボード クラスタの 2 つのマスター ノードに機能不全が発生した場合は、使用しているリリースの [Cisco Nexus ダッシュボード ユーザー ガイド](#) の「[2 つのマスター ノードをスタンバイ ノードに置き換えるトラブルシューティング](#)」セクションで説明されている手順に従って、クラスタと NDFC 構成を回復できます。

NDFC リリース	Nexus Dashboard の最小リリース
リリース 12.1.1e	Cisco Nexus ダッシュボード、リリース 2.2.1h 以降

NDFC 展開では、次の Nexus ダッシュボード フォーム ファクターがサポートされています。

- Cisco Nexus Dashboardの物理アプライアンス(.iso)
- VMware ESX (.ova)
 - ESXi 6.7
 - ESXi 7.0
- Linux KVM (.qcow2)
 - CentOS 7.9
- 既存の Red Hat Enterprise Linux (SAN コントローラのペルソナのみ)
 - RedHat 企業 Linux (RHEL) 8.4

クラスタのサイジング

目的のスケールに必要な Nexus ダッシュボード クラスタ ノードの数については、[NDFC のリリース固有の検証済み拡張性ガイド](#)を参照してください。

Nexus Dashboard は、サービスの共同ホスティングをサポートします。実行するサービスの種類と数によっては、クラスタに追加のワーカーノードを展開する必要があります。クラスタのサイジング情報と、特定の使用例に基づく推奨ノード数については、『[Cisco Nexus Dashboard Capacity Planning](#)』を参照してください。

ネットワーク接続

- ローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理接続 – ファブリック ディスカバリおよびファブリック コントローラ機能は、ND クラスタ アプライアンスの管理ネットワークとデータ ネットワークの両方を介してデバイスを管理できます。
- 管理ネットワークを使用する場合は、NDFC が管理ネットワークで管理またはモニタリングする必要があるデバイスのすべてのサブネットへのルートを追加します。
- データ ネットワークを使用する場合は、データ ネットワークに DHCP リレー サーバーへのルートを追加します。
- SAN コントローラ ペルソナでは、すべてのデバイスが Nexus ダッシュボード クラスタ ノードのデータ ネットワーク経由で到達可能である必要があります。

永続 IP アドレス

- 永続的な IP は、複数のユース ケースで NDFC に必要です。
- Nexus ダッシュボード クラスタがネットワークのレイヤ 3 分離を介して展開されている場合は、すべての ND ノードで BGP を構成します。
- すべての永続 IP は、Nexus ダッシュボード ノードのサブネットの一部にならないように構成する必要があります。これは、ローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理

接続がデータである場合にのみサポートされます。これは、Nexus ダッシュボード インサイトと NDFC を共同ホストするクラスタではサポートされていません。

- Nexus ダッシュボード クラスタが同じサブネット内のすべてのノードで展開されている場合、永続的な IP は同じサブネットからのものとして構成できます。

この場合、永続的な IP は、NDFC サーバー設定のローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理接続設定に基づいて選択されたネットワークに属している必要があります。

詳細については、[NDFC の永続的な IP 要件](#)を参照してください。

- ファブリック ディスカバリ – ローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理接続に基づく 2 つの IP。
- ファブリック コントローラ – ローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理接続に基づいて 2 つ、EPL ファブリック インスタンスごとに 1 つ
- IPFM を備えたファブリック コントローラ – ローカル エリア ネットワーク (LAN) デバイス管理接続に基づく 2
 - ソフトウェアの取り込み用の 1 つの IP 単一ノードの IPFM 展開のテレメトリ
 - ソフトウェアの取り込み用の 3 つの IP 3 ノード IPFM 展開のテレメトリ
- SAN コントローラ :
 - SAN コントローラ 3 ノード クラスタ – データ ネットワーク用の 2 つの IP + SAN インサイト用の 3 つの IP
 - SAN コントローラ 1 ノード クラスタ – データ ネットワーク用の 2 つの IP + SAN インサイト用の 1 つの IP

POAP 関連の要件

- デバイスは POAP をサポートしている必要があります。
- デバイスにスタートアップ構成がない必要があります。または、スタートアップ構成をバイパスして POAP モードに入るように **boot poap enable** コマンドを設定する必要があります。
- 範囲が定義された DHCP サーバー。
- POAP スクリプトとデバイスの構成ファイルを格納するスクリプトサーバーにアクセスできる必要があります。
- ソフトウェアおよびイメージ リポジトリ サーバーを使用して、デバイスのソフトウェア イメージを保存する必要があります。

Network Time Protocol (NTP)

Nexus ダッシュボード ノードは、NTP サーバーと同期している必要があります。ただし、Nexus ダッシュボード ノード間で最大 1 秒の遅延が発生する可能性があります。Nexus ダッシュボード ノード間の遅延が 1 秒以上の場合、NDFC クラスターでの動作が不安定になる可能性があります。

復元、設定の

このシステムを以前に取得したバックアップから復元する場合は、同じバージョンから取得したバックアップ ファイルをアップロードする必要があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。